



# 学校だより **きたざき**

No.9 平成28年11月1日

福岡市立北崎小学校

校長 久光 謙治



## 学習発表会・親子ふれあい交流会

10月22日(土)に学習発表会がありました。今年は低学年が創作劇「スイミー」、中学年が合奏「わーどみゅーじっくインオリンピックイヤー」、高学年が創作劇「武将たちが見た昔話」という演目で行いました。どの演技も一生懸命頑張っている子どもたちの姿が見られとても良かったと思います。毎年子どもたちの成長が見られて楽しい行事ですが、講評の中でも述べましたが、保護者の参観の態度がとても良かったように思いました。おしゃべり一つしないですっかり観ておられました。途中での入退場もなく最後までしっかり一人一人の子に拍手を送って頂きました。我が子だけでなく北崎の子どもとしてみんなが暖かく見守っているような感じがしてとてもうれしかったです。

学習発表会が終わった後は、親子ふれあい交流会がありました。今年からコーナーを一つ減らして、5つのコーナーを回るようにしました。私は、教頭先生と水上副会長さんと3人でじゃんけんコーナーを担当しました。各先生方もそれぞれのコーナーを担当しました。子どもたちは保護者と一緒に15のグループに分かれそれぞれのコーナーを回り、得点を競いました。保護者の方も知らないお子さんや保護者の方とお友達になれたのではないかと思います。楽しい1日でした。



### 小中連携コーナー

10月21日(金)は中学の合唱コンクールがありました。小学校から5・6年生が参観しました。ちょうど学習発表会の前日だったので、みんなで心一つにして歌い上げている中学生を観て、明日頑張ろうという気持ちになったのではないのでしょうか。

中学生たちはいつも良いお手本になってくれています。



# 小中合同成人教育講演会

10月7日にPTA主催の小中合同成人教育講演会がありました。今年は、セクシャルマイノリティの子ども若者をサポートするFRENDSの代表石崎杏理さんのお話を聞きました。「体は女性であっても心は男性である」ご自身の悩みや苦しみ、そして世間の目を気にしながら暮らしてきた経験を元に、お話しを頂きました。トイレや共同浴場での悩み、好きになる対象の問題、私たちが普段考えていなかったことを、改めて考えさせられる内容で、目から鱗のような感じでした。

「正しい知識を持って、相手のことを考えられる自分に」をテーマに、今町別人権学習が行われているかと思えます。まずは、私たちがセクシャルマイノリティの方々の事についてよく知らなければなりません。何かと偏見や違った考えを押しつけていくことは、差別につながります。今回の研修で、自分自身を振り返り、今まで偏見がなかったか、考え直すきっかけになったのではないかと思います。

## 11月の主な行事予定

1日～8日 学校公開週間

1日(火) 全校朝会

3日(木) 校区文化祭

5日(土) 福岡市一斉土曜授業(道徳公開授業、ふるさと手作り教室) ※午前中授業

秋月小学校とのPTA交流会 13:00 出発

7日(月) 代表委員会

10日(木) 就学時健康診断 12:30～13:00

11日(金) クラブ活動

12日(土) 友愛セール 10:00～

13日(日) 福岡マラソン

22日(火) 4, 6年生鍛錬遠足(十坊山)、5年生鍛錬遠足(井原山) ※予備日29日(火)

24日(木) 1, 2, 3年生鍛錬遠足(選択制 灘山 or 柑子岳) ※予備日30日(水)



### 【徒然なるままに】

▼本校には、「たがやし屋」という仕事をしている子がいます。なぎさルームの一人の子が考えた仕事です。学級園や畑を簡易耕耘機で耕してあげるという仕事です。

▼初めは、子どもが機械を使って畑を耕すのは、怪我するかもしれないので禁止しようかなと思いました。しかし、ちゃんと担任がついて安全を確かめながらしているので、まあいいかと思つて、自分で作ったポスター掲示を認めました。「畑を耕して欲しい人はなぎさルームまで来てください」

▼かなりの反響があり、毎日仕事をしています。機械の操作は上手だし畝の作り方も手慣れています。「毎度あり」「ありがとう。助かったよ」の会話を通して、その子の笑顔がたくさん見られるようになりました。

▼人は誰かのためになった時、とても充実した気分になるものです。その子は今とても成長していると思います。自分ができることをして、人から喜ばれた。まさに「いきがい」を感じているのではないのでしょうか。

